

令和5年度 石巻市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和6年5月
石巻市（宮城県）

○計画期間:令和2年4月～令和7年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点(令和6年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和2年3月に内閣府の認定を受けた「石巻市中心市街地活性化基本計画」に基づき、「石巻らしさを活かし、市民の誇りと石巻に暮らすことの豊かさを醸成できるまち」の実現に向け中心市街地の活性化に取り組んでいるところである。

令和5年度は、「第100回石巻川開き祭り」の開催や、「石巻市かわまち交流広場」の供用開始により、街なかで多くの屋外イベントが開催された。また、「石ノ森萬画館」の企画展や「いしのまき元気いちば」の販売促進活動と相まって特に「川沿いエリア」に多くの市民や観光客が訪れた。

また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、市民活動の動きが活発化したことで、「石巻市かわまち交流センター(かわべい)」や「石巻健康センター あいプラザ・石巻」の利用者数が増加するなど、市民活動による賑わいも戻りつつある状況である。

一方、定住人口については、「定住促進住宅取得等補助金」等の事業展開による定住人口の増加を図ってはいるものの、想定以上の少子高齢化や一部民間事業の中断などの影響もあって、減少傾向に歯止めがかからない状況となっている。

また、「川沿いエリア」周辺の来訪者は着実に増加しているものの、「駅前エリア」及び「立町・中央エリア」の歩行者・自転車通行量は引き続き減少傾向にあり、「回遊率」の指標についても目標値と実績値に依然として乖離があることから、街づくり会社や商店街と連携したイベントの開催や既存施設の利用者拡大に向けた事業に力を入れて取り組んでいく必要がある。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日:毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
人口	2,878	2,901	2,859	2,791	2,723	
人口増減数	6	23	△37	△68	△68	
自然増減数	△42	△31	△28	△57	△43	
社会増減数	50	54	△8	△8	△25	
転入者数	69	80	52	37	51	

(2) 地価		地価公示（国土交通省）（基準日：令和6年1月1日）				
	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
鑄銭場 57番7	76,000	75,800	75,500	75,200	75,200	

2. 令和5年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

当中心市街地活性化協議会では、中心市街地における活発なイベントの開催を支援し、交流人口の拡大を図るため、令和3年度より「賑わい創出活性化助成金事業」を実施し、令和5年度は、中心市街地におけるイベントを10件助成支援してきた。

また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことにより、交流施設の利用が増え、中心市街地への交流人口も戻りつつある。

今後は更なる賑わいの創出を図り、まちなかイベントを通じて駅前から川沿いエリアへの回遊性を促し、交流人口の拡大に向けて、官民がより密接な連携を図りながら総合的かつ一体的に推進していきたい。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し							
目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
定住人口の増加	中心市街地における社会増減数(人)	-58 (H29～H30 平均)	+19 (R2～R6 平均)	+3 (R2～R5 平均)	B	①	①
	【参考指標】 中心市街地における定住人口(人)	2,872 (H30)	3,006 (R6)	2,723 (R5)	C	①	②
交流人口の増加	2施設の利用者数 (人／年)	1,369,912 (H30)	1,469,603 (R6)	1,576,973 (R5)	A	①	①
	歩行者・自転車通行量(人)	17,790 (H30)	19,748 (R6)	11,007 (R5)	C	①	①
	【参考指標】 中心市街地回遊率(%)	36.1 (H30)	45.0 (R6)	32.1 (R5)	C	①	①
市民活動参加者数の増加	市民交流施設4施設の利用者数(人)	153,429 (H30)	182,315 (R6)	220,937 (R5)	A	①	①

＜基準値からの改善状況＞
A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる

②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

目標①【定住人口の増加】

「中心市街地における社会増減数」については、令和5年度時点で目標値を下回っている状況にあるが、令和6年度も引き続き「定住促進住宅取得補助金」等の各種事業を着実に実施していくことで、達成可能であると見込まれる。

一方、参考指標の「中心市街地における定住人口」については、民間による住宅供給事業の計画見直しに伴い、計画期間中の事業実施が困難となっている状況から、目標達成が見込まれないと判断した。

目標②【交流人口の増加】

「2施設の利用者数」(石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば)については、「かわまち交流拠点施設整備事業」の完工等着実な計画の進捗が図られたことに加え、新型コロナウイルス感染症の5類移行が重なったことで、目標の「1,469,603人」を大きく上回る「1,576,973人」となり、前倒しでの目標達成となった。

一方、『歩行者・自転車通行量』については、令和5年度の実測値が「11,007人」と前年度と同様、基準値を大きく下回る結果となった。かわまち交流広場の整備が完工し、広場を活用したイベントが行われたが、「橋通り」地点の回復幅が小さかった。その要因として、かわまち交流広場の完成により橋通りから広場内を通して堤防に上がるルートが出来たことで、歩行者の動線が変化した可能性がある。また、全体として、休日の通行量は前年度を上回ったものの、平日の通行量が減少していることから、市民の買い物利用など、普段使いの頻度を高めていく必要があり、「空き地・空き店舗活用事業助成金」や「創業支援事業」などの事業推進が目標達成に不可欠である。

また、参考指標の「中心市街地回遊率」については、前年度比で悪化したものの、回遊率が相対的に低い観光客の割合の増加も要因であることから、「街なかイベント開催助成金」や「石巻マンガロード整備活用事業」に引き続き取り組むことで、目標達成が可能と判断する。

目標③【市民活動参加者数の増加】

「市民交流施設4施設の利用者数」(あいプラザ・石巻、旧観慶丸商店、かわまち交流センター、アイトピアホール)については、新型コロナウイルス感染症の5類移行によって市民活動が活発化したことで、各施設の利用状況も順調に推移したことから、目標の「182,315人」を上回る「220,937人」を前倒しで達成した。

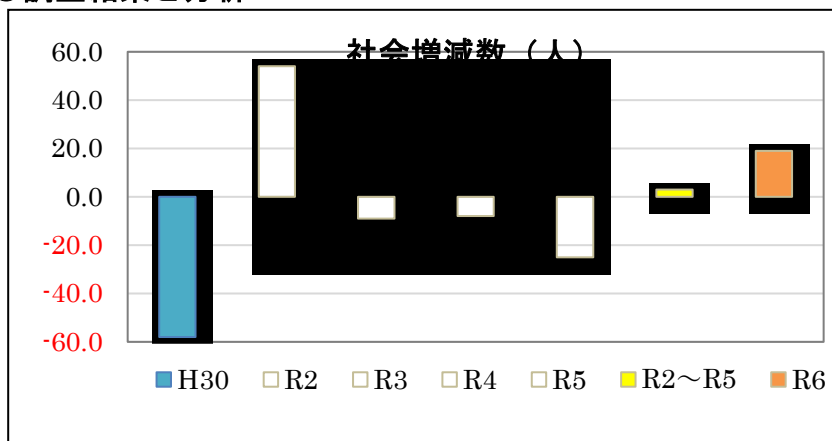
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「中心市街地における定住人口」については、民間の住宅供給事業である「優良建築物等整備事業」の事業計画見直しに伴い、計画期間中の事業実施が困難な状況となったことから、目標達成が見込まれないという見通しに変更せざるを得ないと判断した。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「中心市街地における社会増減数(人)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 66～P. 67 参照

●調査結果と分析



年度	(人)
H30	(基準値) △58
R2	+54
R3	△9
R4	△8
R5	△25
期間平均	+3
R2~R6 平均	(目標値)+19

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数

〈分析内容〉

令和5年度の社会増減数は25人の減少となり減少幅が拡大した。一部民間の住宅供給事業が進展せず、区域内の新たな住宅供給がほとんどなかったことが影響した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 優良建築物等整備事業（中央二丁目3番地区（A1地区））

事業実施期間	平成29年度～令和3年度【済】
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業） （国土交通省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 12戸 [最新値] 7戸（分譲住宅6戸，地権者住宅1戸） [進捗状況] 令和3年6月竣工
事業の今後について	

②. 地域優良賃貸住宅（高齢者型）供給促進事業

事業実施期間	平成29年度～令和12年度【実施中】
事業概要	民間活力を活用して建設された高齢者向け優良賃貸住宅の入居者の家賃負担軽減を図るため、家賃の減額に要する費用を補助し、高齢者に低廉で快適な住み良い住宅の

	提供を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公的賃貸住宅家賃低廉化事業）） （国土交通省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業効果〕 民間賃貸住宅を活用し、高齢者に配慮した良質な賃貸住宅を低廉な家賃で提供することにより、高齢者の居住安定を図る。 〔進捗状況〕 令和5年度末時点での入居戸数は34戸中27戸となっており、入居率は高水準となっているが、高齢者向け賃貸住宅であることから環境の変化等による入退去の動きが比較的大きい。
事業の今後について	平成23年度供用開始から20年間の家賃補助となるため、今後も事業を継続していく。

③. 住吉公園整備事業

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【済】
事業概要	河川堤防整備事業と合わせた再整備により、市民の憩いの場としての機能を回復するとともに、石巻市の地名の由来といわれる「巻石」を有する雄島を再生し、石巻の歴史や文化、川湊の面影を後世に伝える場としての再生を目指す。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業効果〕 整備が完了し、市民の憩いの場として当時のにぎわいが戻ることを期待する。 〔進捗状況〕 令和4年度整備完了
事業の今後について	

④. 定住促進住宅取得補助金

事業実施期間	令和3年度～令和6年度【実施中】
事業概要	中心市街地に転入し、住宅を建築または購入した方に対し、それに要した費用を助成することで、人口減少を抑制し、定住促進と地域活性化を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業効果〕 令和5年度は7月末時点で事前相談分を含め予算額に達

	し、補助金交付実績としては53件となった。当該事業による住宅取得への補助が、定住促進並びに地域活性化に寄与していると思われる。 [進捗状況] 申請及び問い合わせの件数は事業開始以降一定数あり、今後も順調に推移していくと思われる。
事業の今後について	今後は、補助金対象者の見直し等について検討し、より効率的な事業実施を行うことで、更なる定住促進を図る必要がある。

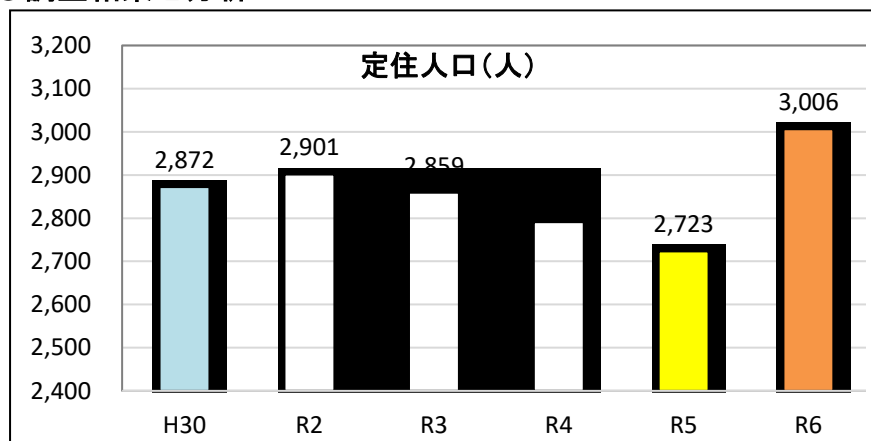
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和5年度の実績値は前年度を下回ったが、事業は概ね順調に進んでおり、引き続き制度の周知等に努め、目標達成に向けた取組を行っていく。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「【参考指標】中心市街地における定住人口(人)」※目標設定の考え方認定基本計画P.68～P.69参照

●調査結果と分析



年度	(人)
H30	2,872 (基準年値)
R2	2,901
R3	2,859
R4	2,791
R5	2,723
R6	3,006 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳

※調査月：毎年度3月末日

※調査主体：石巻市

※調査対象：中心市街地に居住する人数

〈分析内容〉

令和2年度の計画開始以来減少傾向が続いている。各種事業には取り組んでいるものの、少子高齢化の影響が大きく、状況の好転には至っていない。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 優良建築物等整備事業（立町二丁目4番地区）

事業実施期間	平成29年度～令和4年度【済】
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業） （国土交通省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 4戸（賃貸住宅整備予定） [進捗状況] 復興交付金を活用し基本設計、実施設計を完了。
事業の今後について	計画期間中の実施は困難。

②. 優良建築物等整備事業（立町一丁目3番地区（B地区））

事業実施期間	平成29年度～令和4年度【済】
事業概要	まちなか居住の促進や被災者への早期住宅供給とともに、被災店舗の再生を図ることを目的に、店舗及び分譲住宅を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業） （国土交通省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 70戸（サービス付き高齢者住宅整備予定） [進捗状況] 復興交付金を活用し基本設計、実施設計、補償を完了。
事業の今後について	計画期間中の実施は困難。

③. 優良建築物等整備事業（立町一丁目5番地区（A1地区））

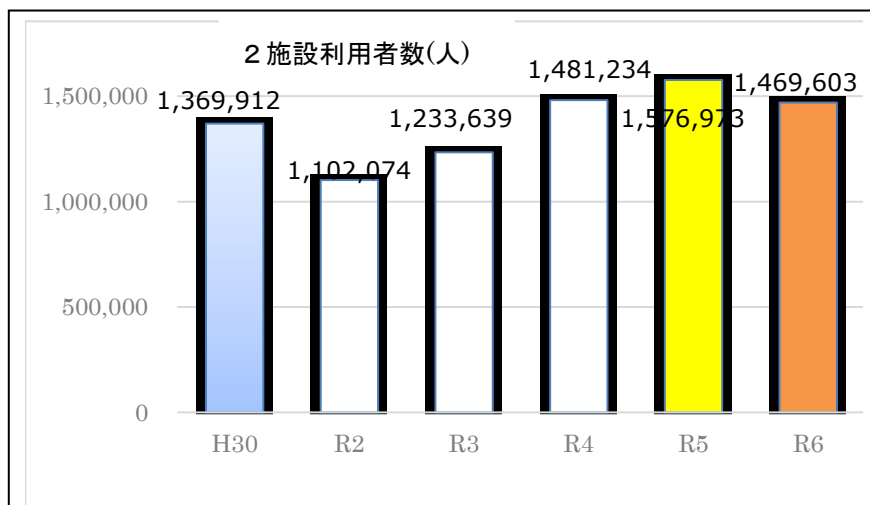
事業実施期間	平成30年度～令和4年度【済】
事業概要	空き地の解消を図り、土地の合理的な高度利用による市街地環境の改善等に寄与することを目的に、商業施設や賃貸住宅、温浴施設等を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	復興交付金（優良建築物等整備事業・基幹事業） （国土交通省）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業目標値] 4戸（賃貸住宅整備予定） [進捗状況] 復興交付金を活用し基本設計、実施設計を完了。
事業の今後について	計画期間中の実施は困難。

●目標達成の見通し及び今後の対策

優良建築物等整備事業については、資金計画等の事業計画に見直しを要しており、計画期間中の完成は困難な状況であり、目標達成は難しいと評価せざるを得ない状況である。

(1)「2施設の利用者数(人/年)」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 70～P. 72 参照

●調査結果と分析



年度	(人)
H30	1,369,912 (基準年値)
R2	1,102,074
R3	1,233,639
R4	1,481,234
R5	1,576,973
R6	1,469,603 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度3月末

※調査主体：石巻市（石ノ森萬画館、いしのまき元気いちば）

※調査対象：石ノ森萬画館入場者数、いしのまき元気いちば利用者数

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症の5類移行や「かわまち交流拠点整備事業」の完工もあり、両施設ともに前年度を超える来客があった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石ノ森萬画館実施事業（市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置活用なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 218,917人 [最新値] 154,624人 [事業効果] 館内空調の改修に伴う臨時休館などがあり目標未達成となったが、全国巡回ではない館独自の企画展や中心市街地の周遊を促すイベントの開催により、前年度より約1.17倍観覧者数が増え、一定の賑わいをもたらす効果を発揮した。 [進捗状況] 新型コロナウイルス感染症流行前の入込数水準までは回復

	していないが、感染症対策に留意しながら、中心市街地の周遊を促進するイベントも開催し、施設の観覧者数の回復に努めている。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による入込数の落ち込みから回復が鈍いが、地域活性化の拠点の一つとして、引き続き感染症対策を行いながら中心市街地の賑わいを創出する事業を模索する。

②. いしのまき元気いちば運営・石巻食発信事業

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	本市の中心市街地の拠点エリアに立地する商業施設「いしのまき元気いちば」を運営し、「食のエンターテインメント」をコンセプトに、石巻地域の地場産品を紹介し、それらを用いたイベントなど消費者が楽しめ、面白いと感じられるような企画を実施。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 1,230,686 人 [最新値] 1,422,349 人 [進捗状況] 地場産品を豊富に取りそろえたイベントを随時開催することで、目標を大きく超える来客者数を達成することができた。
事業の今後について	来店されたお客様が川沿いエリアを堪能しながら食材を「見る、食べる」ことができるような機会をさらに楽しめるイベント企画を更に増やしていく。

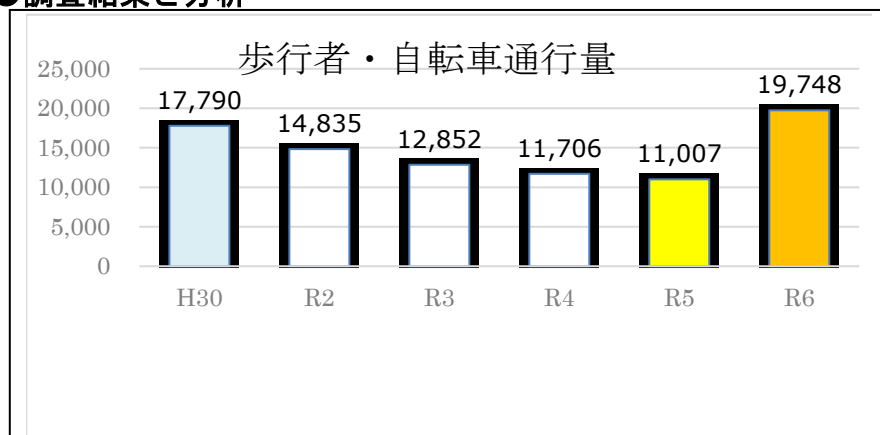
●目標達成の見通し及び今後の対策

事業は順調に進んでおり、目標を前倒しての達成となった。

なお、石ノ森萬画館については、空調設備の工事のため約3か月間休館していたが、令和6年度は通年営業に戻る予定であることから、魅力的な企画展やイベントの開催により更なる利用者増加を目指していく。

(1)「歩行者・自転車通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73～P. 76 参照

●調査結果と分析



年度	(人)
H30	17,790 (基準年値)
R2	14,835
R3	12,852
R4	11,706
R5	11,007
R6	19,748 (目標値)

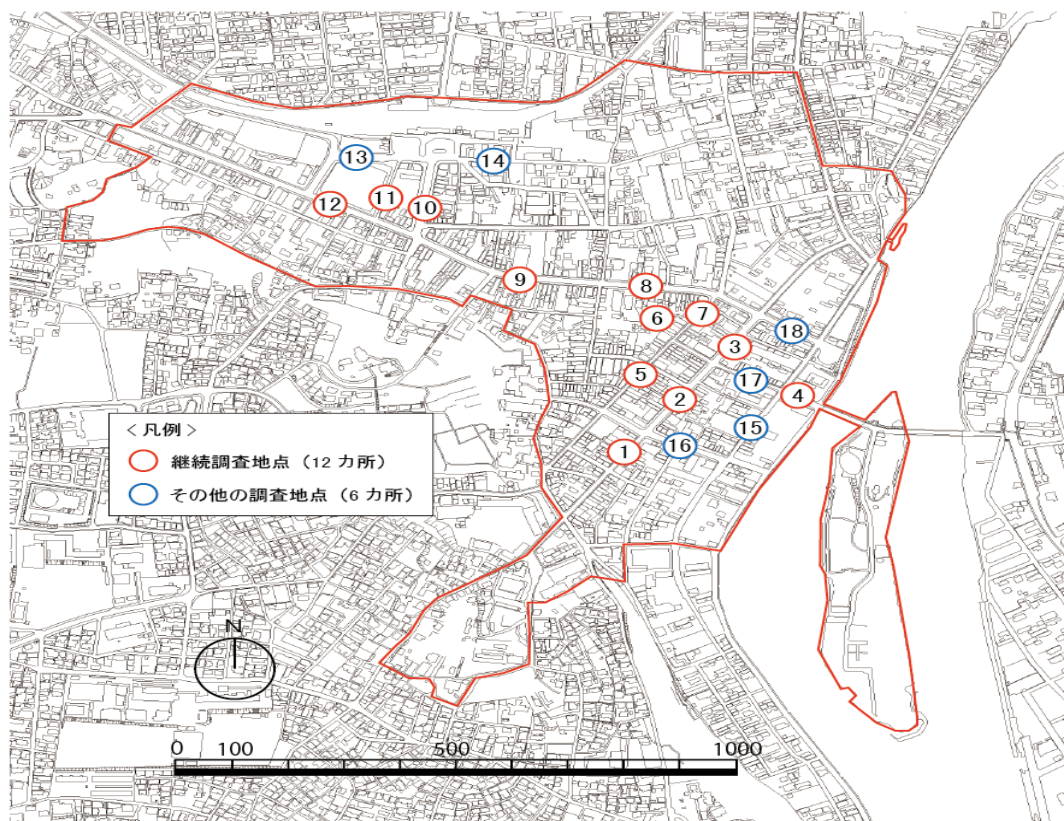
※調査方法：石巻市中心市街地通行量調査

※調査月：平成 15 年 10 月/11 月、平成 20 年 5 月、平成 25 年 11 月、平成 27 年 3 月、平成 27 年 11 月、平成 28 年 5 月、平成 29 年 11 月、平成 30 年 10 月、令和元年 10 月、令和 2 年 10 月、令和 3 年 10 月、令和 4 年 10 月、令和 5 年 10 月/11 月

※調査主体：石巻市

※調査対象：平日・休日の中心市街地内 12 地点（①中央一大通り、②アイトピア大町、③アイトピア中央銀座、④橋通り、⑤寿町みなみどおり、⑥ことぶき町ポケットパーク、⑦ことぶき町、⑧立町大通り東側、⑨立町大通り西側、⑩駅前大通り、⑪市役所おまさか通り、⑫穀町大通り）における歩行者と自転車通行量の合算値。

【調査位置図】



(単位：人)

	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
地点①	666	804	816	728	504	
地点②	942	1,058	654	778	534	
地点③	1,431	1,235	912	993	987	
地点④	1,638	1,725	1,621	387	497	
地点⑤	760	678	606	794	884	
地点⑥	602	556	402	352	412	
地点⑦	1,264	1,182	754	658	721	
地点⑧	1,894	1,997	1,676	1,894	1,682	
地点⑨	2,071	2,246	1,669	1,838	1,883	
地点⑩	2,031	1,493	1,172	1,349	1,390	
地点⑪	1,004	420	828	710	338	
地点⑫	1,476	1,441	1,742	1,225	1,175	
合計	15,779	14,835	12,852	11,706	11,007	

〈分析内容〉

令和5年度歩行者・自転車通行量調査の結果は上記のとおり前年度比で減少となった。昨年度大きく減少した地点④「橋通り」については、かわまち交流広場の整備工事の完了により大きな回復を期待していたが、区画整理に伴う道路状況自体の変化もあって、回復幅は小さいものとなった。また、同じく昨年度の減少幅が大きかった地点⑫「穀町大通り」についても減少傾向に変化は見られず、中心市街地全体として、これまでの調査で平日の通行量が相対的に多い地点の通行量減少が目立ったことから、市民の日常的な利用が減少している現状が窺える。

なお、上記12地点には含まれていない「川沿いエリア」の「いしのまき元気いちば前」においては、歩行者通行量が大幅に増加しているが、その近隣の測定地点においても通行量の増加が見られないことから、集客力のある施設から中心市街地全体への回遊性を高めることが喫緊の課題となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石ノ森萬画館実施事業（市）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	石ノ森萬画館にて、「マンガの街いしのまき」を体感してもらうきっかけづくりとして各種事業を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 石ノ森萬画館を訪れた人による歩行者・自転車通行量増加数

	(平日 1 日、休日 1 日計) 261 人 [事業効果] 令和 5 年度は 154,624 人(前年度+22,407 人)が来館した。令和 4 年度に県が実施したアンケートによると来館者の 18.8%が徒歩または自転車で中心市街地を周遊したと推定されることから、年間で推定 4,213 人の歩行者・自転車通行量の増加に寄与したと想定される。 [進捗状況] 感染症対策に留意しつつ中心市街地の周遊を促す企画を実施しており、中心市街地の他施設と連携しながら街歩き促進に努めている。
事業の今後について	石ノ森萬画館で行われるイベントと併せ、街歩きを促進する地方創生ゲームアプリも活用しながら、中心市街地に感染症拡大前の賑わいを取り戻すよう努めていく。

② . かわまちエリアマネジメント事業

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	都市再生推進法人の指定を受けた民間事業者が、関係事業者とともに堤防一体空間を始めとしたかわまちエリアの管理体制を構築し、日常的な賑わいと憩いの場としての活用を図る。
国の支援措置名及び支援期間	民間まちづくり活動促進・普及啓発事業 (国土交通省) (令和 3 年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 中心市街地歩行者通行量 19,784 人 (令和 6 年度) [最新値] 中心市街地歩行者通行量 11,007 人 (令和 5 年度) [事業効果] 旧北上川堤防一体空間において、令和 5 年 4 月から令和 6 年 3 月まで計18回のイベントが開催され、およそ6,500 人の方が訪れた。 [進捗状況] 年間を通して市民の参画を得て多様なイベントが開催されたほか、キッチンカーによる出店による賑わい創出が図られた。堤防一体空間周辺の通行量は平日・休日ともに増加したが、商店街への回遊にはつなげることができず、中心市街地歩行者通行量の増加につなげることができなかった。
事業の今後について	令和 5 年 3 月に完成したかわまち交流広場との連携を図

りながら、市民主体によるイベントの開催によって賑わいを創出していく。また、かわまちエリアマネジメント検討会にて出た意見を都市再生推進法人やかわまち交流拠点エリア内の事業者とともに、ウォークアブルな空間づくりに向けた取り組みを実施していくことで、中心市街地歩行者通行量の増加につなげていく。

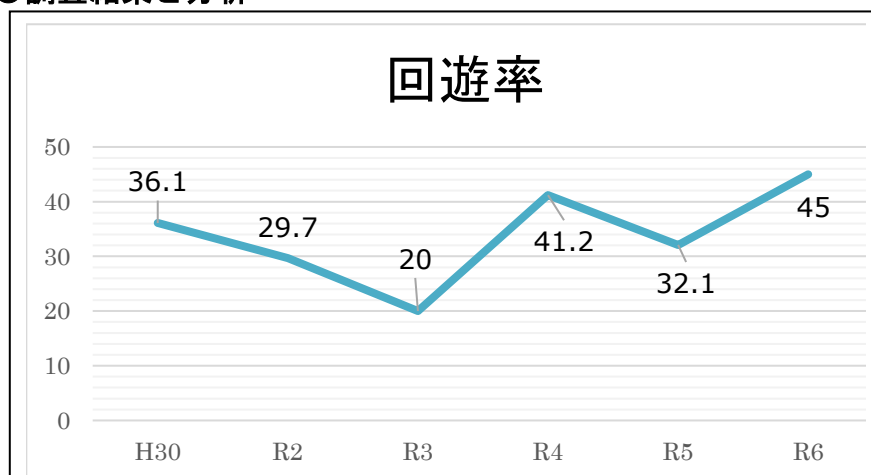
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和5年度の歩行者・自転車通行量調査については11,007人と前年度比で減少となったが、「川沿いエリア」を中心に多くの観光客等が来ていることから、回遊性の向上に向けた取組を引き続き推進することで目標達成は可能であると考えます。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「【参考指標】中心市街地回遊率(%)」※目標設定の考え方認定基本計画P.77参照

●調査結果と分析



年度	(%)
H30	36.1 (基準年値)
R2	29.7
R3	20.0
R4	41.2
R5	32.1
R6	45.0 (目標値)

※調査方法： アンケート調査

※調査月： 毎年8月頃

※調査主体： 東北学院大学 建築デザイン研究室

※調査対象： 川沿いエリア（いしのまき元気いちば前）に来訪した市民・観光客

※令和元年度は実施せず。

〈分析内容〉

令和5年度は前年度比で減少し基準年値を下回った。調査結果を分析すると、例年よりアンケート調査における観光客の割合が高かったことが数値の低下につながっており、いしのまき元気いちばを訪れる観光客にとって、中心市街地を回遊する目的となる場所が少ないことが課題となっていることから、観光客にとって観光の目的地となるような店舗等の出店を推進していくとともに、観光客に向けた効果的な情報発信についても引き続き取り組んでいく必要がある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石巻マンガロード整備活用事業

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	石巻駅前、石ノ森萬画館、市役所等の中核施設を結ぶ商店街通りを「石巻マンガロード」として位置づけモニュメント等を整備してきた。今後も中心市街地の魅力創出のためマンガモニュメントの追加設置やウェブサイトの運用を中心とした情報発信を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和2年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業効果〕 石巻マンガロード（マンガモニュメント）の魅力を発信するため、ハード事業やソフト事業を実施し、マンガロードを周遊してもらうことで、中心市街地の賑わいに寄与する。 〔進捗状況〕 令和5年度は石の案内板5台のマップを新調する修繕を行った。また、「石巻マンガロードウェブサイト」を運用し、中心市街地で活動する団体の特集記事や街なかでのイベント情報の発信を行った。
事業の今後について	J R 石巻駅から石ノ森萬画館まで続く石巻マンガロードに設置してあるモニュメント等を設置・管理することによって、街なかを歩く楽しさや石ノ森萬画館との相乗効果を図り中心市街地の賑わいと回遊性を高めていく。

②. 街なかイベント開催助成金

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	中心市街地における活発なイベントの開催を支援し交流人口の拡大を図るため、石巻市中心市街地活性化協議会が実施している「賑わい創出補助金」に対して助成を行う。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和3年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業効果〕 中心市街地で開催されたイベント10件分の補助に対して助成を行った。 R 5年度 1,709,600 円 〔進捗状況〕 本事業により、着実に街なかにおけるイベント回数が増えてきている。
事業の今後について	令和6年度も引き続き実施し、中心市街地の賑わい創出に努めていく。

③. 石巻マンガロード新名物創出事業

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	街なかの店舗一軒一軒に、石巻マンガロードの新たな名物になるような石ノ森作品にちなんだ商品が生まれることを目標に、商品開発費、キャラクター利用の著作権費、広報宣伝費等を助成。また、実施事業者の発掘や著作権に係る交渉などの商品開発に係るサポート業務を実施。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和3年度～令和6年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔事業効果〕 石巻へ訪れお土産を購入していただくだけでなく、石巻から他県へ贈答品を送る人をもターゲットとし、魅力発信及び認知度を図ることができる。 〔進捗状況〕 令和5年度については、1件33,000円の補助実績があった。著作権の関係上、商品化が困難となるケースがあり、実績は伸び悩んでいる。
事業の今後について	石ノ森作品とつながりのある漫画家や石巻出身、石巻在住のアーティストが新名物事業へ参入することにより、次世代の担い手だけでなく「萬画のまち・石巻」を発信していく機会となるよう事業を行っていきたい。

④ . 街なか集客販促イベント共同化事業

事業実施期間	平成26年度～【実施中】
事業概要	中心市街地への集客と販促につなげるため、商店、飲食店、まちづくり会社等が連携し、イベント等を企画、実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	〔目標値〕 中心市街地の回遊率 45.0% 〔最新値〕 中心市街地の回遊率 32.1% 〔進捗状況〕 石巻ハロウィン祭りとして、10月28日から29日にかけて開催した。子どもセンターらいつや実行委員会による主催イベントと合わせて開催したことで、イベント当日は多くの方で賑わった。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、商店街での集客企画を積極的に実施していくことで、中心市街地のさらなる回遊性向上につなげる。

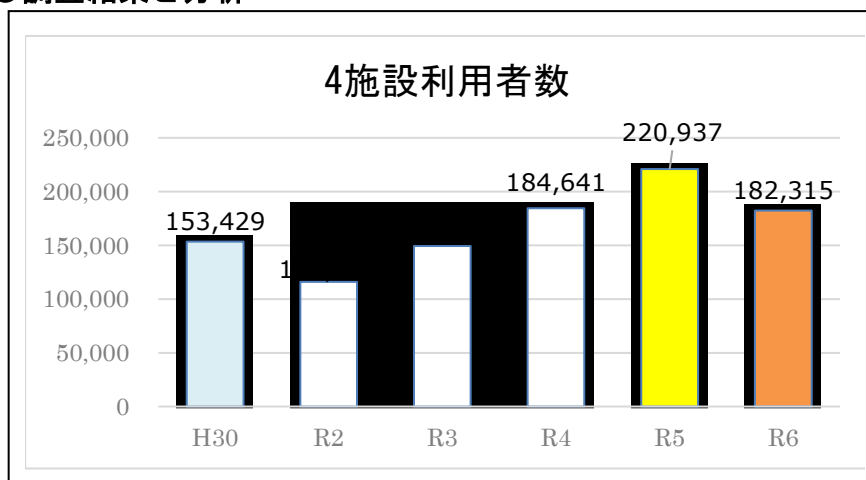
●目標達成の見通し及び今後の対策

令和5年度は基準値を下回る結果となった。多くの人が訪れるいしのまき元気いちばなどの「川沿いエリア」から、立町・中央エリアにある商店街へ観光客をどう誘導していくかが引き続き重要な課題となっており、「空き地・空き店舗活用事業助成金」等を活用した新たな目的地づくりに取り組むことで、目標達成を目指していく。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「市民交流施設4施設の利用者数(人/年)」※目標設定の考え方認定基本計画P.78～P.79 参照

●調査結果と分析



年度	(人)
H30	153,429 (基準年値)
R2	115,885
R3	149,244
R4	184,641
R5	220,937
R6	182,315 (目標値)

※調査方法：施設の利用者数の集計

※調査月：毎年度3月末

※調査主体：石巻市

※調査対象：あいプラザ・石巻、旧観慶丸商店、かわまち交流センター、アイトピアホールの利用者数

〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症の5類移行を背景に市民活動が活発化したことで、利用者数が大きく伸び、目標を前倒しで達成できた。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 石巻市かわまち交流拠点施設管理運営事業(市(指定管理者))

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	石巻市かわまち交流センター、石巻市かわまち立体駐車場・かわまちバス駐車場、石巻市かわまち交通広場を指定管理により運営し、観光ハブ機能を有し、市民や観光客が気軽に利用できるスペースとして、サロン・ミーティング

	スペース・キッチン等の利用開放や、観光情報案内、イベントの開催等を行う。
国の支援措置名及び支援期間	.0. 中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[最新値] かわまち交流センター利用者数：132,920人 [事業効果] 観光情報発信機能、中心市街地のにぎわい創出のためのイベント企画実施、地場製品の販売促進支援により、市民や観光客、交流人口の増加や賑わいの創出を行っていく。 [進捗状況] 観光情報の発信を行うとともに広場等を活用したイベントの開催や地場製品の販売促進等を実施した。
事業の今後について	今後もかわまち交流拠点内の核となる観光交流施設として、市内エリアの観光スポットを有機的に繋ぐハブ機能を有した観光情報発信拠点として、積極的に情報発信を行い、誘客に取り組んでいくとともに、隣接するいしのまき元気いちばと連携し、地場製品の普及に努める。

②. 石巻健康センター あいプラザ・石巻活用事業

事業実施期間	平成21年度～【実施中】
事業概要	健康・福祉の拠点施設として各種講座の展開や、プールやジム等の施設提供を行うことで、地域住民の健康づくりを推進する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[最新値] 74,008人 [事業効果] 本施設が健康づくりの中核的拠点となり各種講座の実施や施設提供を行うことで、賑わいの創出が期待できる。 [進捗状況] 新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、利用者数は令和4年度と比較すると増加傾向にあるものの、夏冬における新型コロナウイルス感染症患者数の増加等の影響により、コロナ禍以前の水準には回復していない。
事業の今後について	地域住民にとって、本施設がコミュニティー活動の場となるよう、利用者等の要望や意見を取り入れながら、各種講座及び利用者満足度の高いイベント等を実施し、集客及びにぎわいの創出を図る。

③. まちなかコミュニティホール活用事業（旧生協）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
事業概要	旧みやぎ生協アイトピア店を改修し、みやぎ生協と街づくりまんぼう等の連携のもと、各種イベントや講演会、勉強会等を開催し、市民が集えるまちなかのホールとして活用する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 10,794 人 [最新値] 4,512 人（令和4年度は2,381 人） [進捗状況] 新型コロナウイルス感染症の落ち着いたことで、前年度から2倍近くの利用者数となった。
事業の今後について	引き続き、交流イベントなどの受け入れを増やしていく。

④. 旧観慶丸商店保存活用事業

事業実施期間	平成30年度～【実施中】
事業概要	市指定文化財である歴史的建造物の保存を図りつつ、中心市街地における歴史・芸術・文化発信拠点として、拠点となる施設の運営及びイベントを開催する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	[目標値] 11,714 人（平成30年度） ・年間入館者数 令和元年度 19,226 人 令和2年度 4,787 人 令和3年度 12,957 人 令和4年度 10,361 人 令和5年度 9,497 人 ・一日平均入館者数 31 人 [事業効果] 令和2年度は新型コロナウイルス感染症予防の影響を受け入館者数が大幅に減少したが、令和3年度は「Reborn ArtFestival」の展示会場の一つとして使用されたことで、目標値を達成することができた。一方、そのような大型イベントのなかった令和4年度、令和5年度については、歴史・芸術・文化発信の拠点として、各種展示やイベントを実施したが、目標値には達しなかった。 [進捗状況] 令和5年度 ・貸館利用団体数 31 件

	・利用延べ日数 106 日 ・開館日数 309 日
事業の今後について	令和 6 年度についても現時点で大型イベントの予定はないが、中心市街地の歴史・芸術・文化発信の拠点として、市民や観光客の関心を引くような展示やイベントを博物館と連携しながら実施することで、施設への入館者数が増えるように取り組んでいく。

⑤. 街なか文化・芸術活動活性化助成金

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地において、文化活動や芸術活動を行う団体に対し、活動費用の助成を行うことにより、中心市街地の文化や芸術活動の拠点としての機能強化を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） （令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	[事業効果] 中心市街地において、文化活動や芸術活動を行う団体に対し、活動費用の助成を行なうことにより、市民活動参加者数の増加に繋がる。 [進捗状況] 令和 4 年度 申請団体 8 団体 助成額 799,000 円 令和 5 年度 申請団体 11 団体 助成額 1,061,000 円
事業の今後について	年々活用団体が増えてきており、着実に認知されてきていることから、芸術文化活動に取り組む団体の下支えとして、活用する団体が使いやすい形を念頭において、整理していく必要があると思われる。

●目標達成の見通し及び今後の対策

新型コロナウイルス感染症の 5 類移行に伴い、市民活動が活発化したことに加え、各施設においてもイベント等を開催しやすい環境となったことから、目標を前倒しで達成することができた。